

授業科目 小児看護学概論

【担当教員名】 松井 由美子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 小児看護の対象である子どもとは何か、子ども親の変遷や子どもを取り巻く環境の変化などを歴史的にとらえながら子どもとその家族について理解を深める。小児看護における主な理論を知り、子どもの権利や権利擁護の意義と役割についても学習する。					
【行動目標：SBO】 1. 子ども親の変遷について説明できる。 2. 子どもを取り巻く社会や環境の変化について述べられる。 3. 子どもの権利と権利擁護に対する看護師の役割を述べられる。 4. 子どもに関わる理論について説明できる。 5. 小児看護の関連法規を列記できる。 6. 子どもにとっての遊びと教育の意義を説明できる。 7. 小児看護における家族ケアの重要性を述べられる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	小児看護の対象と小児看護の役割			1～7	講義
2	子ども親と小児看護の歴史的変遷			1、2	講義
3	子どもの権利とその擁護			3	講義
4	小児看護に関する主要理論			4	講義
5	小児看護に関する法律			5	講義
6	子どもにとっての遊びと教育			6	講義
7	子どもと家族			7	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		小児看護学概論	二宮啓子、今野美紀	南江堂	2009・3,000円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート(80%) 出席(20%)		【履修上の留意点】 子どもをイメージするための授業です。子どもや家族について考える機会にしましょう。			